

# ごみ処理施設、汚泥再生処理センターにおける施設整備基本構想

## ◆ ごみ処理施設、汚泥再生処理センターにおける施設整備基本構想の目的

- ごみ処理施設、汚泥再生処理センターにおける施設整備基本構想は、「一般廃棄物処理基本計画」を踏まえて、循環型社会を形成する上で、今後整備が必要となる施設について、最適な処理システムを検討するとともに、施設整備内容を決定することを目的としています。

## ◆ 施設整備基本構想の内容

### 1) 一般廃棄物処理・処分の現状と課題の整理

施設整備基本構想の基礎となる一般廃棄物処理・処分に関する基礎資料等の収集・整理を行うとともに、一般廃棄物処理・処分の課題を抽出、整理する。

- ① 一般廃棄物処理・処分状況の把握（一般廃棄物処理体制、一般廃棄物の種類別の発生量、一般廃棄物の性状、一般廃棄物処理・処分の実績および施設の状況等）
- ② 現状の課題（分別・排出、収集・運搬、中間処理、最終処分等）

### 2) 一般廃棄物処理・処分技術の動向

一般廃棄物の処理・処分の最新の技術的動向の把握を行う。

- ① 廃棄物、資源化物の運搬・輸送システムの技術動向調査
- ② 中間処理の技術動向調査
- ③ 資源化・再利用施設の技術動向調査
- ④ 焼却灰・飛灰処理に関する技術動向調査
- ⑤ 最終処分の技術動向調査

### 3) 一般廃棄物処理システムの検討

#### ① 基本方針

一般廃棄物処理に関する処理システム案を作成するための基本的な考え方を整理する。

#### ② ごみ量、ごみ質の推計

計画目標年次までの一般廃棄物量、ごみ質に関しての長期見通しを検討する。

#### ③ 処理技術の適用性の検討

一般廃棄物処理技術の動向を検討した結果にもとづいて施設規模等を想定し、適用する一般廃棄物処理技術の信頼性、安全性、経済性等について検討する。

#### ④ 処理システム案の作成

一般廃棄物処理基本計画等を参考にして、今後整備が必要となる各処理施設の必要な規模、機能構成や整備パターンについて処理システムを複数案設定する。なお、システムの選定にあたっては、収集・運搬、中間処理、最終処分などに適用性が高い技術を組み合わせる。

#### ⑤ 処理システム案の評価

前項で作成された処理システム案を総合的に評価するための評価基準を設定し、比較・評価して、実効性と経済性に優れた処理システムを選定する。なお、比較・評価にあたっては、環境省「市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針」等を参考とする。

### 4) 施設整備基本構想

選定された処理システムの最適案にもとづいて、施設整備基本構想としてとりまとめる。

#### ① 施設整備内容の決定

#### ② 施設整備スケジュール

- ・ 各処理施設内容、施設の規模、運営・維持管理体制
- ・ 各処理施設計画から施設稼働までのスケジュール
- ・ 既存施設の存続、廃止計画

#### ③ 行財政計画

- ・ 行政施策、計画推進方針、管理運営計画等について
- ・ 事業費および財源内訳について